

## あわてず冷静に行動するためには ～第1回リスクコミュニケーション講演会開催～

「第1回リスクコミュニケーション講演会」（主催:東通村、協力:東北エネルギー懇談会）が7月13日（月）東通村防災センターにおいて開催され、村民や村内事業者など約120人が参加しました。

これは、原子力災害が発生した場合、国・県・村を含めた防災関係機関が連携し対応することとなりますが、村民の皆さんにも、村などからの指示に従い、冷静に行動していただく必要があることから、災害時・緊急時の人間行動、事故を引き起こす人間のエラーや災害時の人間の心理と行動などに精通されている首藤由紀氏をお招きし、「緊急時の人間行動学～パニック人間行動学～」と題して、緊急時の人間行動についてご講演いただいたものです。



首藤 由紀 氏

首藤氏から、ホテルやデパートなどで火災が発生したときの行動の事例、心理学から見た行動特性の整理についてご説明いただくとともに、身近にできる緊急時の対策として、あわてず行動するための対策、危機管理のポイントなどもご紹介いただきました。

村は、国策である原子力政策に協力するとともに、安全性の確保を大前提として、原子力との共生による村づくりを進めています。しかし、福島第一原子力発電所の事故が発生してから、我が国のエネルギー政策は、数多くの課題が山積みし、今後のエネルギー政策のあり方が大きな議論となっています。また、原子力災害が発生した場合における対応や体制なども大きく変更され、さらに検討が進められています。

村では、これらの状況を踏まえ、このような講演会をはじめ、様々な取り組みをしていくこととしておりますのでご協力をお願いします。



講演風景

### あわてず行動するための対策

- ・ 実体験訓練
- ・ 身体で覚える
- ・ ひと呼吸おく
- ・ 声を出してみる
- ・ 簡単なマニュアルをつくる
- ・ メンタルシミュレーション

### 危機管理のポイント

- ・ 心配性になること
- ・ 無精をしないこと

## ホームページ「東通村と原子力」メール配信サービスのお知らせ

村では、広く東通原子力発電所の状況や原子力全般についての情報を知っていただきたくホームページ「東通村と原子力」を開設しています。

また、希望者には原子力情報のメール配信サービスをしており、下記アドレスまたはQRコードにより登録することができます。

※機種によってはご利用できないものもあります。また、通信料等は利用者の負担となりますので、あらかじめご了承ください。

○ホームページアドレス <http://www.atom-higashidoori.jp/>

○メール配信サービス登録 <http://www.atom-higashidoori.jp/occ/main.php>



QRコード